

平成26年度

第3回芽室町総合保健医療福祉協議会
(高齢者・介護部会)

議 事 録

1 日 時：平成27年1月8日（木）午後6時30時～7時35分

2 場 所：芽室町保健福祉センター（あいあい21）会議室

3 出席者

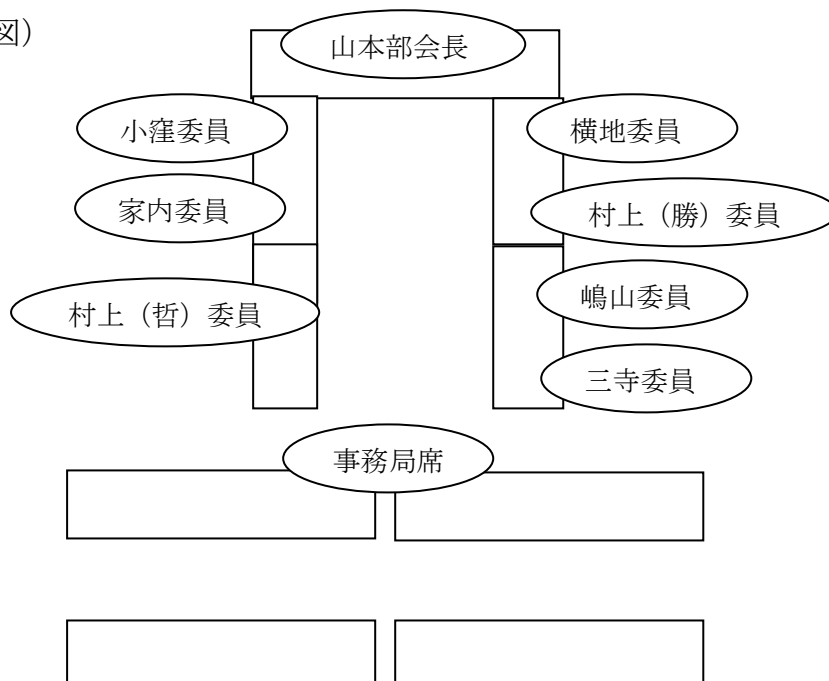
【部会委員】

所 属	職	氏 名	備 考
医療法人社団三草会りらく	施設長	山本 孝二	部会長
公立芽室病院	院 長	小窪 正樹	
芽室同仁会	会 長	家内 典夫	
芽室町国民健康保険運営協議会	会 長	村上 哲也	
芽室町社会福祉協議会	会 長	三寺 邦宏	
芽室消費者協会	会 長	嶋山 亮二	
社会福祉法人慧誠会	常務理事施設長	村上 勝彦	
芽室町老人クラブ連合会	会 長	横地 璋典	

【事務局】

所 属	職	氏 名	備 考
保健福祉課	課 長	中川 ゆかり	
保健福祉課社会福祉係	主 任	山田 陽子	
保健福祉課介護保険係	係 長	佐々木 博史	
〃	主 査	中田 雅彦	
保健福祉課保健推進係	係 長	森 真由美	
保健福祉課在宅支援係	係 長	塚田 直子	
〃	主 査	高橋 雅昭	
〃	主 査	高谷 真理子	

(会場図)



4 実施内容

山本部会長の進行で協議をすすめました。

1) 第6期芽室町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の素案について

在宅支援係高谷から、計画書（素案）をもとに第1章～4章までのこれまでの大きな変更点について説明を行いました。

介護保険係佐々木係長から、計画書（素案）をもとに第5章の変更点、別紙資料をもとに消費増税の先送りによる影響など、介護保険料についての変更点を説明しました。

2) 今後の策定スケジュール

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定進捗状況について、塚田係長から説明を行いました。

村上（勝）委員：認知症施策推進事業について詳しい事業内容を教えてください。

塚田係長：平成27年度のプロジェクト会議の中で、国の中で示されている方針をもとに認知症初期集中支援チームの活動を実施していきたいと思っています。

村上（勝）委員：サポート医が診断をした後のケアが充実することが望ましいと考えているので、保健師などの専門職と家庭訪問を実施したりするなど、体制の充実が重要と思います。

中川課長：国の方針では認知症認定医が必要である一方で、必要な研修を受けている医師が少ない実態であり、実現には相当な準備や調整があるものと考えています。まずは、芽室町としては来年度から精神科医師と家庭訪問などを実施する体制を計画しています。

横地委員：保健師等の専門職が老人クラブなどで、認知症の相談窓口を周知していくことが必要と思われれます。

中川課長：JAめむろ婦人部との意見交換会では、高齢者以外の介護を担う若い年代では、相談窓口を知らないという意見もあり、幅広い年代への周知が必要と思っています。

山本部会長：精神科医が来て訪問事業を実施するという事なのでしょうか。

塚田係長：その通りです。

山本部会長：医師が診断を行って、認知症について認識を深めて、きちんと治療を行うことが大切だと思います。

小窪委員：十勝地域は、精神科医師がよく認知症を診てくれる環境だと認識しています。それでも足りない現状ではあると思うが、診断後のケアの在り方が重要だと思います。

嶋山委員：十勝は精神科医療について充実しているというが、他の地域は非常に厳しい状況とのことだが、厚生労働省からは今後の取り組みについて考えが示されているのでしょうか。

中川課長：認識している範囲では、認知症初期集中支援チームにおいても、認定医の確保など具体的な考えが示されていない状況です。

小窪委員：医師が不足している状況は、精神科も同様であり非常に難しい問題と思います。

横地委員：だからこそ、認知症になった場合にお互いに声を掛け合い相談しやすい環境づくりが大切と思います。

山本部会長：認知症になると自分が認知症だと認識できなくなり、注意されると反発する傾向があり、認知症について理解を深めることが大切だと思います。

小窪委員：出前健康講座の概要を教えてくださいと思います。公立芽室病院でも今後出前講座を実施していきたいと思っているので。

塚田係長：今までは健康管理や認知症予防全般中心に行っていますが、今後は糖尿病予防や認知症予防など、病気の重症化予防などテーマを設定して実施していきたいと思います。

小窪委員：病院と横の連携をもって、一緒に実施していけたらと思うので検討していただきたいと思います。

中川課長：地域の色々な意見を聞く機会になりますので、ぜひ一緒に実施させていただきたいと思います。

山本部会長：公立芽室病院の他に、開業の医師もいるので連携をしながらシステムづくりに努めていただきたいと思います。

三寺委員：地域密着型サービスについて、検討していくということが述べられているが、第6期計画の中に具体的な方針を出すことになるということなのでしょうか。

中川課長：計画の記載のとおり、認知症高齢者の動向やサービス利用者の意向等を参考にしながら、随時検討していく方針です。サービス付き高齢者住宅については、プロジェクト会議の中で2か年の計画で必要性について検討していく方針です。要支援1・2の方のサービスとして市町村の判断で行うことになっており、その内容についても同様にプロジェクト会議で検討をしていく考えです。施設整備については、施設を望む声が多い一方で、介護保険料の問題もあり、今後の動向を見ながらその必要性について協議していきたいと思っています。

三寺委員：既存の施設機能を強化することは、介護保険料が増大しないものと思いますので、検討してきてほしいと思います。

村上（哲）委員：特定健診受診率向上について、議会でも質問されていましたが保健福祉課としてどのように考えていますか。

中川課長：現在住民生活課が担当していますが、未受診対策が芽室町として重要と認

識しており、過去に健診を受けたことがない方への電話、以前受診したことのある人には家庭訪問で勧奨を実施しています。

家内委員：健診の負担はどのくらいですか。

中川課長：7割は国保の負担で、3割が自己負担となっています。

村上委員：1回目の会議の資料と比べると、策定イメージの部分で事業所へのアンケート、人口推計の対象年に変更があるようですが、どのような意図があつての変更でしょうか。

高谷主査：事業所へのアンケートについては、事業所との意見交換会が実現したため削除したものです。また、人口推計の対象年については、人口問題研究所による最新の数値であるもので、介護保険料算定に関わる認定者数等に合わせた年度に変更しています。

3) その他

- ・第4回高齢者・介護部会については、3月23日(月)開催ということで調整を行いました。(在宅支援係長)
- ・介護保険料の算定については、介護報酬の見直し等により今後も変更していく可能性があることを伝えていきます。(介護保険係長)

議題を終え、会議を終了しました。

—午後7時35分—